



HPVワクチンの公費接種

高校1年相当が最終年度

小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年^{相当}

(今年4月1日時点で15歳)の女の子
と保護者の方へ



公費による

HPVワクチンの接種は

今年度末(来年の3月末)までです



子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。

毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、

毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。

小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に

子宮頸がん予防のための
HPVワクチンの公費による接種を提供しています。

高校1年相当(今年4月1日時点で15歳)の女の子は、

公費による接種期間の最終年度にあたります。

接種は合計3回で、完了するまでに約6か月かかるため、接種を希望する方は、

今年の9月までに接種を開始することをご検討ください。

HPVワクチン接種について
もっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 HPV 検索



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。

お手元がない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare